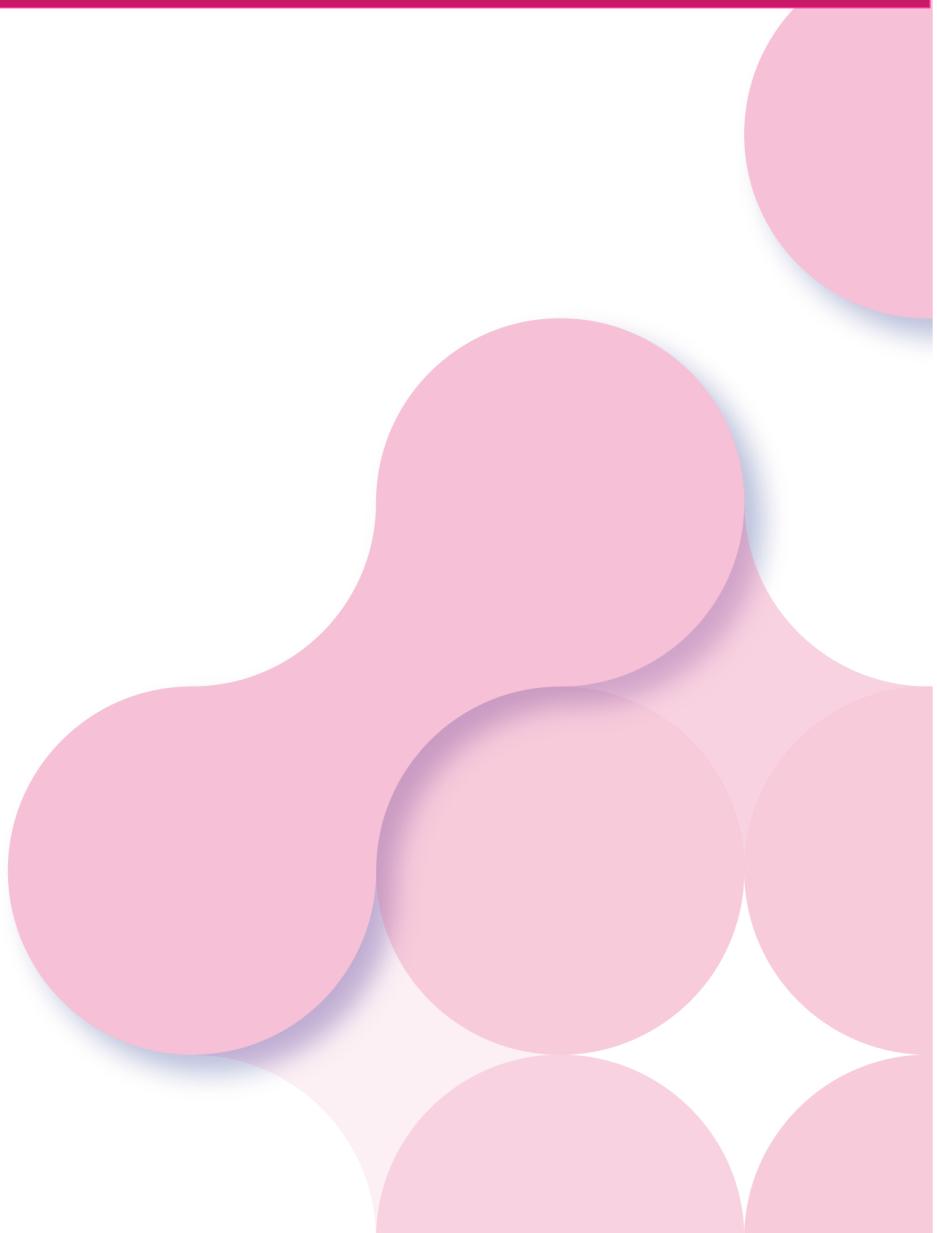


あんてい しゅうろう せいかつ め ざ す が い ど ぶ っ く
「安定した就労と生活を目指すためのガイドブック」

しゅうろうていちゃくし えんじぎょうしょ り よ う かたむけ
-就労定着支援事業所を利用する方向け-

＜ふりがな付き＞



＜このガイドブックの内容＞

1. 就労定着支援ってなんだろう……………3

- 「働きづける」ためのサポート
- 仕事と生活、地域もふくめたサポート

2. 就労定着支援のながれ……………4

- 就職から最初の6か月間
- 就職して6か月後からの支援

3. 就労定着支援は「安心して働きづけるための準備期間」……………5

- 自分に合った働き方を見つけるために

4. 安心して長く働くためのサポート(就労定着支援)……………5

- 安定して働きづけるために大切なこと
- 仕事と生活のバランスをとる
- 自信を持って働けるように
- 生活のサポートについて
- 地域での楽しみや活動も大切に

5. より良い支援を受けるために大切なポイント……………7

- Point 1:ふだんの様子を「見えるように」する
- Point 2:いろんな人とつながる「ネットワーク支援」
- Point 3:自分のゴールを考える「こころの準備」

6. 働きつづけるために大切なこと(仕事で必要な力) 10

- 前向きに取り組む力
- 一歩ふみ出す力
- 考える力
- チームで働く力

7. 安心して働き続けるための「支援計画」と「支援レポート」 11

- 支援計画とは?
- 月に1回の面談について
- 支援レポートとは?

8. 安定した就労生活を実現するためのチェックリスト 12

- 6つの大切なポイント
- やさしい日本語版チェックリスト

9. 安定した就労生活を実現するためのリソースマップ 17

本ガイドブックは、令和6年度厚生労働省科学研究費((23GC1010)「質の高い就労定着支援のためのマニュアルに関する研究」の
成果物の一部です。

1. 就労定着支援ってなんだろう

(1) みんなが「働きつづける」ためのサポートです

就労定着支援(しゅうろうていちゃくしえん)は、みんなが「この仕事を続けたい」「自分らしく働いている」と感じられるようにサポートする制度です。

サポートの目的は、「がんばって無理に続けさせる」ことではなくて、仕事や生活のなかで困ったことがあったときも、自分らしく前向きに働きつづけることができるようにお手伝いすることです。

みんなが悩んだときには、一緒に働く会社の人や、支援してくれる人たちが協力して「どうすればよくなるか?」と一緒に考えていくような関係をつけていきます。

就労定着支援事業所では、みんなが就職してから6か月後~最長3年間、支援を受けることができます。

しゅうしょく 就職	りょう じぎょうしょ 利用していた事業所の あふた一けあきかん アフターケア期間 しゅうしょくご かけつ 就職後6か月	しゅうろうていちゃくしえんじぎょうしょ しえんきかん 就労定着支援事業所の支援期間 しゅうしょく ひ ねん かけつ (就職した日から3年6か月まで) げんそくつき かいいじょう めんせつなど しえん 原則月1回以上の面談等による支援	ひつよう おう 必要に応じて しょうがいしやしゅうぎょう・せいかつしえんせんたー 障害者就業・生活支援センターによる ふおろー フォロー
--------------	--	---	---

就職した日から3年6か月まで

(2) 日常の生活もふくめてサポートします

働き続けるためには、仕事だけでなく「日々の生活」や「地域での暮らし」も大切です。

就労定着支援事業所では、みんなの周りにある地域のサポート(たとえば病院や福祉のサービスなど)ともつながって、必要なときに必要な支援が受けられるようにお手伝いします。

みんなが「自分らしく働けるようにしたい」と思ったとき、仕事・生活・地域のそれぞれの面からサポートすることで、安心して働きつづけられるようにします。

また、地域の中にあるいろいろな支援の仕組みや場所が、おたがいにつながって協力しあえるように、就労定着支援事業所も働きかけていきます。

2. 就労定着支援のながれ

(1) 最初の6か月間

みんなが会社に就職したあと、最初の6か月は、とくに大切な時期です。新しい環境に慣れたり、仕事に合わせた生活リズムを整えたりする必要があります。

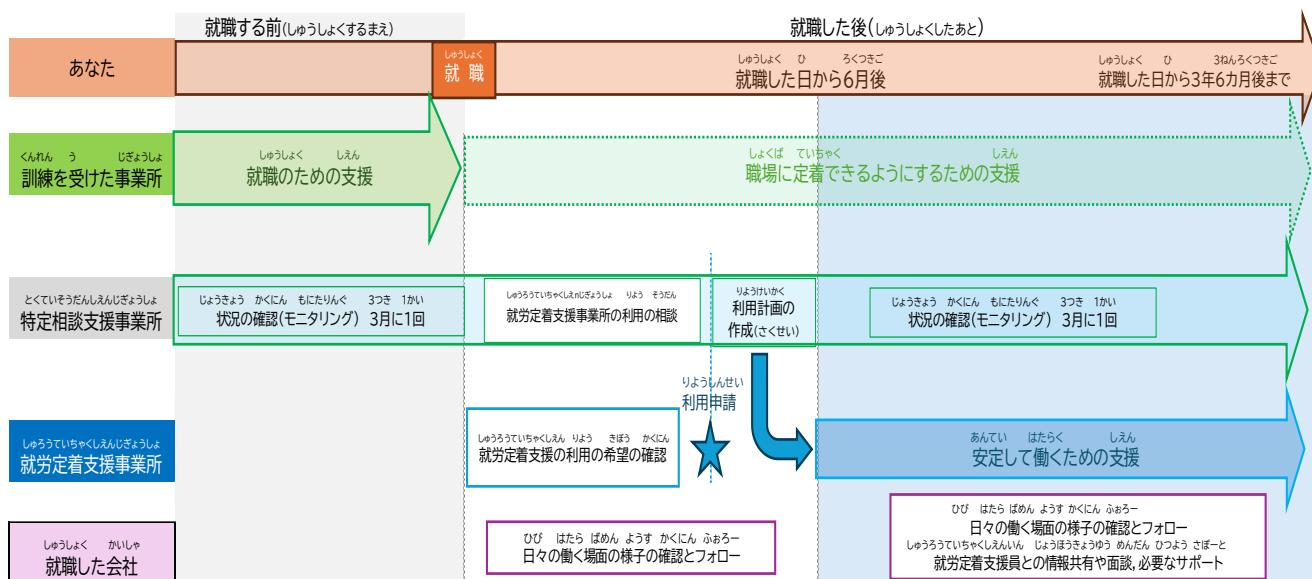
この期間は、就職する前に利用していた事業所(たとえば、就労移行支援事業所など)が中心になって、仕事や生活のサポートをしてくれます。会社とのやりとりも手伝ってくれます。

※利用していた事業所によって、支援のしかたや義務の程度は少し違います。

(2) 就職して6か月後から

就職し6か月がすぎたあとは、「就労定着支援事業所」を利用することができます。ここでは、最長3年間、みんなが「特別な支援がなくても、自分の力で働きつづけられる」ようにお手伝いしていきます。

みんなのペースや希望に合わせて、必要なサポートを受けながら、仕事を続けられるように支えていきます。



3. 就労定着支援の期間は、安心して働きつづけるための準備期間

この支援を活用することで、自分に合った働き方を見つけたり、将来のキャリアについて考えたりすることができます。あなたらしい働き方と、ゆたかな人生をつくっていくための一歩として、支援を上手に使ってください。

4. 安心して長く働くためのサポート(就労定着支援)

(1) 安定して働きつづけるために

就労定着支援は、みなさんが働く会社や日々の生活に少しずつ慣れていき、自分らしく、安心して働きつづけられるようにサポートする制度です。

この支援では、次のようなことを目指します:

- ① 仕事や生活のリズムが安定すること
- ② 気持ちが落ち着いて、自分に自信が持てるること
- ③ 困ったときに「助けてほしい」と伝える力につけること
- ④ 将来の生活や働き方を考えるきっかけをつくること

支援が終わったあとも、必要に応じて相談できるような「つながり」を大切にしています。

(2) 「仕事のこと」と「生活のこと」のバランスが大事です

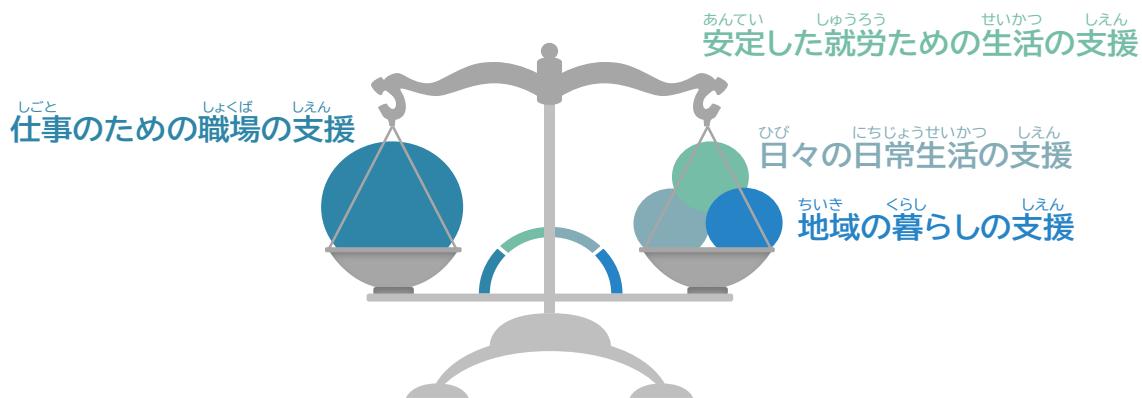
安心して働きつづけるためには、仕事のことだけでなく、生活のことも大事です。

たとえばこんなこともサポートの対象になります:

一人暮らしでの生活の安定
グループホームの職員やヘルパーさんとの情報共有
訪問看護師さんとの連携

仕事がうまくいっていても、生活が不安定だと疲れがたまりやすくなるので、「仕事と生活のバランス」が大切です。

安心して働きつづけるための 仕事と生活のバランス



(3) 自信を持って働けるようになるために

仕事をしていると、うまくいかないことや失敗もあると思います。

そんなときに「自分はダメだな」と思わないように、あなたががんばっていることや、できていることを支援者がきちんと見て、声をかけていきます。

「できることを自信に変える」ことがとても大切です。

(4) 生活のサポートもあります

生活面では、次のようなことを一緒に考えたり、支援したりします:

- 朝起きる時間や、寝る時間などの生活リズム
- ごはんを食べる、シャワーをあびるなどの習慣
- お金の使い方(家賃・光熱費・おこづかいの管理)
- 家族や友だちとの関係
- 病院に行くこと、薬をのむこと

支援が必要な場合は、地域のサービス(ホームヘルパー、訪問看護、社会福祉協議会など)とつないで、一緒に生活を支えていきます。

(5) 地域での楽しみや活動も大切です

はたらくだけではなく、「休みの日に楽しくすごせること」もとても大切です。

たとえば：

サークル活動やボランティア

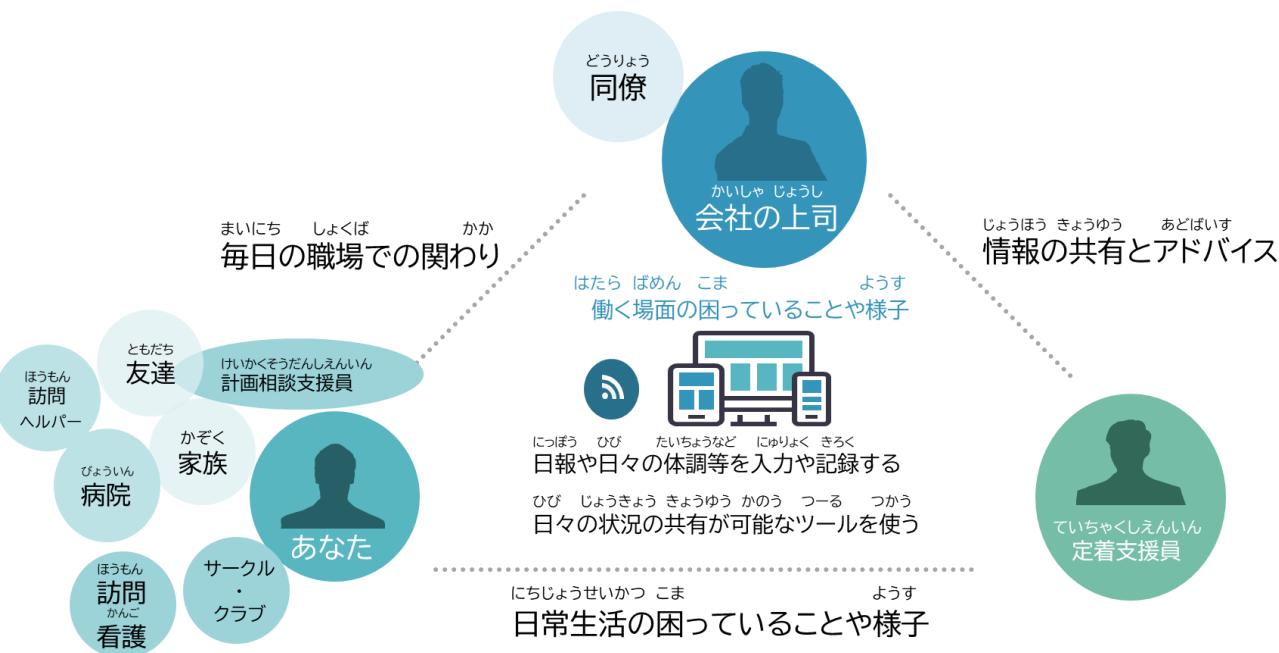
地域のイベント

趣味を楽しむグループ

こうした活動など、何か休日の過ごし方を充実させることも大切になります。また、年金のことやお金の管理についても、心配な場合には、就労定着支援事業所の方に相談すると必要に応じて専門の相談機関につないでもらえます。

5. より良い支援を受けるために大切なポイント

(1) Point 1: ふだんの様子を「見えるように」すること



みんなの仕事や生活がうまくいっているかを知るためには、月に1回くらいの面談だけでは足りないこともあります。でも、毎日だれかが来てくれるわけではないので、ふだんの様子をどうやって支援者に

伝えるかが大事になります。

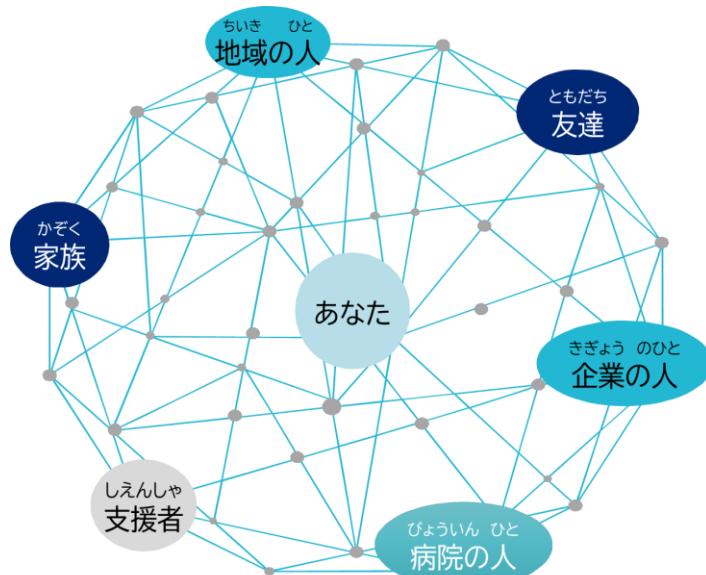
たとえば、こんな方法があります：

ひきぶんしこと すまほばそこんにゅうりょく にっぽう かく
その日の気分や仕事を、スマホやパソコンで入力する、「日報(にっぽう)」を書く

じょうほう かいしゃひとしえんしゃみる
その情報を、会社の人や支援者が見ることができるようにする

こうすると、「今日は元気そうだな」とか「少し疲れているのかな?」といったことがわかって、支援が必要なときにすぐに動けるようになります。

(2) Point 2: いろんな人とつながる「ネットワーク支援」



安定して働きつづけるためには、自分のまわりにいろんな人たちがチームのようにつながっていることが大切です。

このネットワークには、たとえば次のような人たちが入っています

しょくばじょうしどうりょうかいしゃなかひと
職場の上司や同僚など、会社の中の人

じゅうろうていちやくしえんじぎょうしょすたつふいぜんふくしおくわい
就労定着支援事業所のスタッフや、以前かかわった福祉の支援者

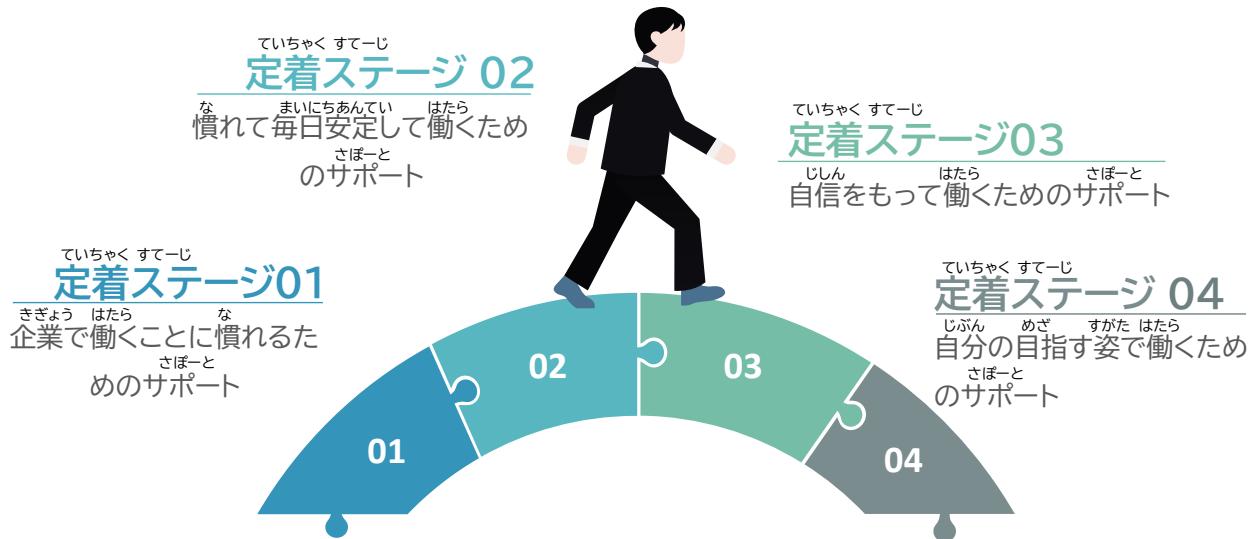
ほもんかんごおいしゃいりょうひと
訪問看護やお医者さんなど、医療の人たち

ちいきひとしゅみかつどうちいきさぼーと
地域でつながっている人たち(趣味の活動や地域のサポート)

じゅうろうていちやくしえんじぎょうしょねつとわいくはぶやくわりもつて
就労定着支援事業所は、このネットワークをつなぐ「ハブ」のような役割を持っています。

あなたの今の様子や、これから変わっていくニーズに合わせて、いろんな支援をつないでくれます。

(3) Point 3:自分のゴールを考える「こころの準備」



就労定着支援は、ただ「見守ってもらうだけ」のサービスではありません。

この支援を受けることで、最終的にはあなたが自分の力で自信をもって仕事を続けられるようになることをを目指しています。支援が始まったら、支援者や会社の人たちと一緒に、「3年後、自分はどうなっていたいか?」というイメージを話し合っておくことが大切です。

たとえば…

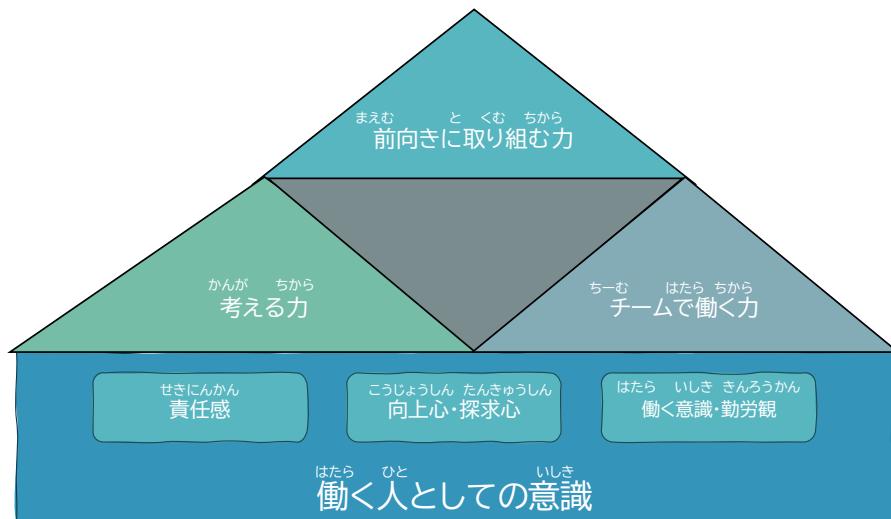
どんなふうに働いていたい?

どんなことに困りそう?

どうすれば乗りこえられそう?

こうした話を最初にしっかりと共有しておくことで、あなたにとって意味のある支援ができるようになります。

6. 働きつづけるために大切なこと(仕事で必要な力)



仕事を続けるためには、いくつかの「力」が大切になります。全部できる必要はありません。自分の得意なところ、苦手なところを知っておくことが大切です。

・前向きに取り組む力

はたらくたいしておもえるじぶんやくわりかんがえるきもち
働くことに対して「がんばってみたい」と思えること、自分の役割を考える気持ち

いっぽふみだすちからうごいてちからまわりひとこえりょくけいかくこうどう
一步ふみ出す力、やってみようと動いてみる力、周りの人にも声をかけられる力、計画して行動できる

ちから
力

・考える力

もんだいきづいたりかんがえたりあいであだすちから
問題に気づいたり、どうすればいいか考えたり、アイデアを出す力

・チームで働く力

じぶんきもちつたえるちからひとはなしときくちからひときょうりょくちからるるまもるちからすとれす
自分の気持ちを伝える力、人の話を聞く力、まわりの人と協力できる力、ルールを守る力、ストレスと

つき合う力

にがてさぼーといつしょかんがえる
もし苦手なところがあれば、「どうすればサポートしてもらいやすいか」を一緒に考えることができます。

しょくばあんしんながくはたらきつづけるしえんしゃしえんけいかくしえんれいぼーと
あなたが職場で安心して長く働き続けるために、支援者は「支援計画」や「支援レポート」というものをつくります。これらは、あなたの希望や困りごとに合わせて、どんなサポートが必要かをはっきりさせるためのものです。

7. 安心して働き続けるために大切な「支援計画」と「支援レポート」について

(1) 支援計画とは？

「支援計画」は、あなたが安心して働けるようにするためのサポートの計画です。たとえば、今のお仕事の内容や、職場の様子、健康のこと、生活のことなど、あなたに関わる情報を整理して、どんなふうに支えていくかをまとめます。

この計画は、少なくとも半年に1回は見直して、必要があれば内容を変えます。

また、あなたやご家族、関係する支援機関にも説明し、みんなで情報を共有します。

(2) 月に1回の面談

あなたと支援者は、月に1回以上は直接会って話をしたり、オンライン(テレビ電話など)で面談したりします。画面越しの面談でも、あなたの表情や様子が分かるようにし、お互いに話し合えることが大切です。オンラインが苦手な場合は、無理のない方法を一緒に考えましょう。

(3) 支援レポートとは？

「支援レポート」は、月に1回以上、あなたがどんなサポートを受けたかをまとめた報告書です。

支援計画	支援レポート
<p>就労定着支援サービスをうける期間のためのサポートの計画です。</p> <p>半年に1回は見直して、必要があれば変更します。</p>	<p>月に1回以上、どのようなサポートを受けたか、まとめた報告書です。</p> <p>あなたも内容を確認して、あなたの希望を確認しながら、会社の担当者の方にも共有することができます。</p>

そこには、

・今月のサポートの目標

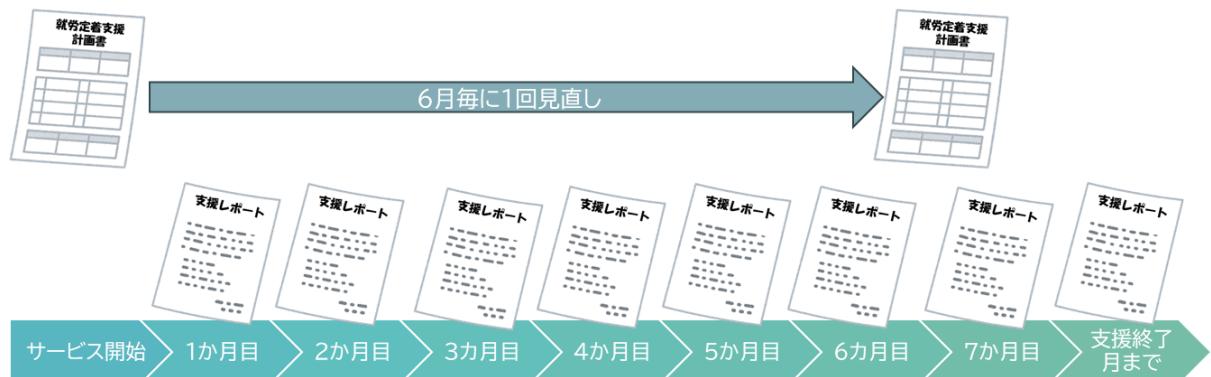
・実際にどんな支援をしたか

・その結果どうだったか

・来月に向けてのサポートの方向性 などが書かれます。内容はあなたにも確認してもらい、必要があれ

ば一緒に話し合いながら修正していきます。

このレポートは、あなたのプライバシーに配慮しながら、あなた自身や会社の担当の方とも共有すること
があります。これは、会社があなたに合ったサポートを考えるためにも役立つ大事な情報です。会社と
支援者が協力して、あなたの働きやすさと一緒に考えていけるようにすることが目標です。



8. 安定した就労生活を実現するためのチェックリスト

アセスメントで見る大切なポイントがあります。このポイントは、① 前向きに働けているかどうか(あなたの働き方や気持ちについて)、② 体の調子・健康が安定しているか、③ 仕事の中で困っていないか(業務の安定)、④ 職場に満足できているか(職場への気持ち)、⑤ 会社の人から見たあなたの評価、⑥ 職場のサポートがあるかどうかの6つです。

この6つの大切なポイントを確認してみましょう。あなたにとって、気になる内容などがあったら、あなたの支援者の人と話しをしてみましょう。

① 前向きに働けているかどうか(あなたの働き方や気持ちについて)

あなたが「これからも働きたい」と思っているか、「仕事が楽しい」と思っているかが大切です。次のようなことをふり返ります:

将来の目標や夢がある

仕事を楽しめている

自分や将来を前向きに考えられる

休日にリラックスできている

家族や地域との関係がよい

仕事に一生懸命取り組んでいる

② 体の調子・健康が安定しているか

仕事を続けるには、体と心の元気が必要です。たとえば:

よく眠れている

お薬や病院の利用が安定している(または必要ない)

食事がちゃんととれている

疲れても休めば回復できる

③ 仕事の中で困っていないか(業務の安定)

職場の人とうまくやれている

遅刻や欠勤がない

仕事の取り組み方が安定している

人間関係に不安がない

④ 職場に満足できているか(職場への気持ち)

お給料や働き方に不満がない

通勤にストレスがない

シフトや勤務時間に困っていない

⑤ 会社の人から見たあなたの評価

上司が「仕事のしかたが良い」と思っている

上司が「やる気がある」と思っている

上司が「責任感がある」と感じている

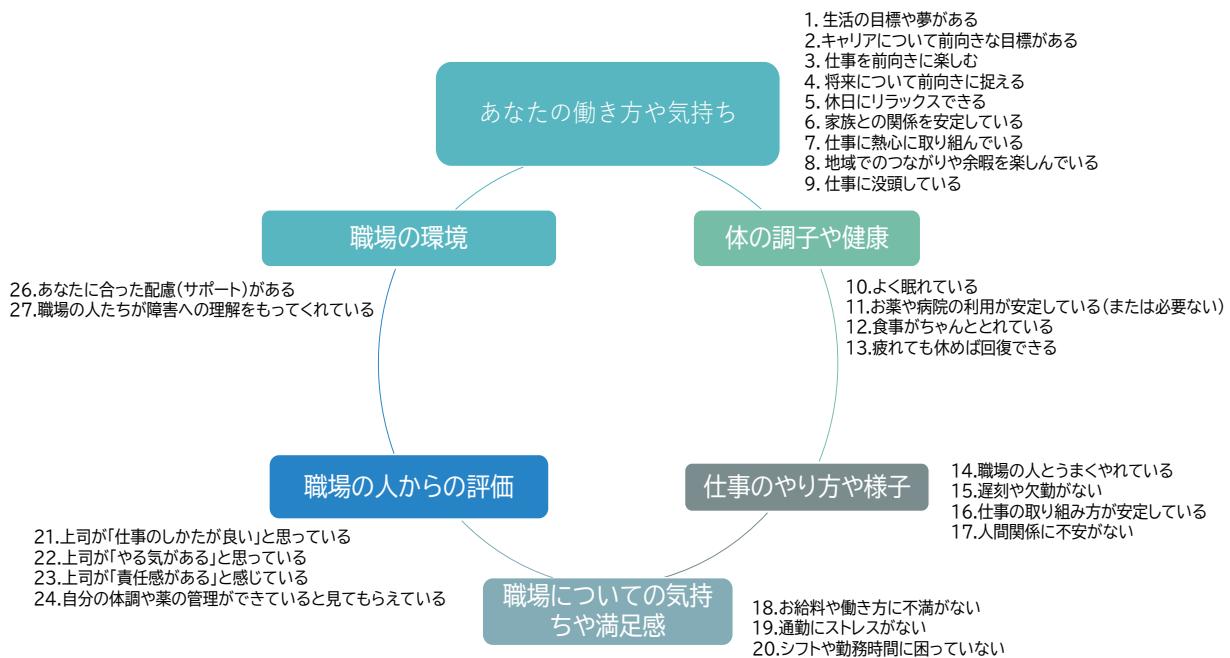
自分の体調や薬の管理ができていると見てもらっている

⑥ 職場のサポートがあるかどうか

あなたに合った配慮(サポート)がある

職場の人たちが障害への理解をもってくれている

安定的な就労生活のために大切なこと



○安定した就労と生活を実現するためのチェックリスト

I. あなたの働き方や気持ちについて	
1. 生活の目標や夢があると思いますか？	<input type="checkbox"/>
2. 将来のことや、今後の仕事について目標を持っていますか？	<input type="checkbox"/>
3. 仕事をするのが楽しいと思いますか？	<input type="checkbox"/>
4. 自分の将来について前向きに考えていますか？	<input type="checkbox"/>
5. 休みの日にリラックスできていますか？	<input type="checkbox"/>
6. 家族といい関係が作っていますか？	<input type="checkbox"/>
7. 仕事に一生懸命取り組んでいますか？	<input type="checkbox"/>
8. 地域の人とのつながりや、自由な時間を楽しんでいますか？	<input type="checkbox"/>
9. 仕事に夢中になっていますか？	<input type="checkbox"/>
II. 体の調子について	
10. よく眠れていますか？	<input type="checkbox"/>
11. 病院や薬を飲むことなどの状態が安定していますか？	<input type="checkbox"/>
12. ごはんをしっかり食べていますか？	<input type="checkbox"/>
13. 疲れても、すぐに元気になれますか？	<input type="checkbox"/>
III. 仕事のやり方について	
14. 仕事場で、他の人と仲良くできていますか？	<input type="checkbox"/>
15. 決められた時間を守って仕事をしていますか？	<input type="checkbox"/>
16. 仕事中の態度について問題はありませんか？	<input type="checkbox"/>
17. 他の人の関係で不安を感じていませんか？	<input type="checkbox"/>
IV. 職場についての気持ち	
18. 給料や待遇に満足していますか？	<input type="checkbox"/>
19. 仕事の時間やシフトに不満はありませんか？	<input type="checkbox"/>
20. 職場までの通勤で不安や困難を感じていませんか？	<input type="checkbox"/>
V. 上司からの評価について	
21. 上司があなたの仕事態度を良いと思っていますか？	<input type="checkbox"/>
22. 上司があなたの仕事への熱心さを良いと思っていますか？	<input type="checkbox"/>
23. 上司があなたの責任感を良いと思っていますか？	<input type="checkbox"/>
24. 上司があなたの体調管理を良いと思っていますか？	<input type="checkbox"/>
25. 上司があなたの仕事の仕上がりを良いと思っていますか？	<input type="checkbox"/>
VI. 職場の環境について	
26. 職場のサポートは十分だと思いますか？	<input type="checkbox"/>
27. 障害のある人に対する理解が十分だと思いますか？	<input type="checkbox"/>

copyright©aYamaguchiLab2024

このようなアセスメント(チェック)を通して、あなたが「今、どんなサポートが必要か？」、「何がうまくいっていいるか？」を見るようにしていきます。困ったときに早めに支援を受けられるように、そしてあなたしく働きづけられるように、一緒に考えていきましょう。

○安定した就労と生活を実現するためのチェックリスト
 にほんごばん
 <やさしい日本語版>

I. みなさんの元気な気持ちとお仕事のやる気について	
1. 生活の中で「こうしたい」「こんな夢がある」と思うことがありますか？	<input type="checkbox"/>
2. 自分の将来やお仕事について「こうなりたい」と考えていますか？	<input type="checkbox"/>
3. お仕事をすることが楽しいと思いますか？	<input type="checkbox"/>
4. 自分の未来について「きっと大丈夫」と思えていますか？	<input type="checkbox"/>
5. お休みの日にリラックスできる時間を過ごせていますか？	<input type="checkbox"/>
6. 家族との関係はよいと思いますか？	<input type="checkbox"/>
7. お仕事に一生けんめいがんばっていますか？	<input type="checkbox"/>
8. 地域の人とつながったり、自由時間を楽しめていますか？	<input type="checkbox"/>
9. お仕事に夢中になれることがありますか？	<input type="checkbox"/>
II. あなたの健康について	
10. よく眠れていますか？	<input type="checkbox"/>
11. 病院に行くことやお薬を飲むことで問題はないですか？	<input type="checkbox"/>
12. ごはんをちゃんと食べられていますか？	<input type="checkbox"/>
13. 疲れたときにしっかり元気を取り戻せていますか？	<input type="checkbox"/>
III. お仕事の様子について	
14. 職場で人と話したりすることで問題はないですか？	<input type="checkbox"/>
15. 職場のきまりを守って働けていますか？	<input type="checkbox"/>
16. 職場での態度について注意されることはありませんか？	<input type="checkbox"/>
17. 職場で人と話すときに不安を感じたりしていませんか？	<input type="checkbox"/>
IV. お仕事への満足感について	
18. お仕事のお給料などに不満を感じていませんか？	<input type="checkbox"/>
19. 働く時間やシフトに不満を感じていませんか？	<input type="checkbox"/>
20. 職場に通うときに不安や困ったことはありませんか？	<input type="checkbox"/>
V. 職場の人からの評価について	
21. 上司から「がんばっているね」と言われていますか？	<input type="checkbox"/>
22. 上司から「お仕事にやる気があるね」とほめられていますか？	<input type="checkbox"/>
23. 上司から「责任感があるね」と言われていますか？	<input type="checkbox"/>
24. 上司から「体調やお薬の管理ができているね」と言われていますか？	<input type="checkbox"/>
25. 上司から「お仕事をしっかりやっているね」とほめられていますか？	<input type="checkbox"/>
VI. 職場の環境について	
26. 職場で自分にあったサポートをしてもらっていますか？	<input type="checkbox"/>
27. 職場の人たちは、障害がある人のことを理解してくれていますか？	<input type="checkbox"/>

copyright©aYamaguchiLab2024

9. 安定した就労と生活を実現するためのリソースマップ^{りそーすまっぷ}

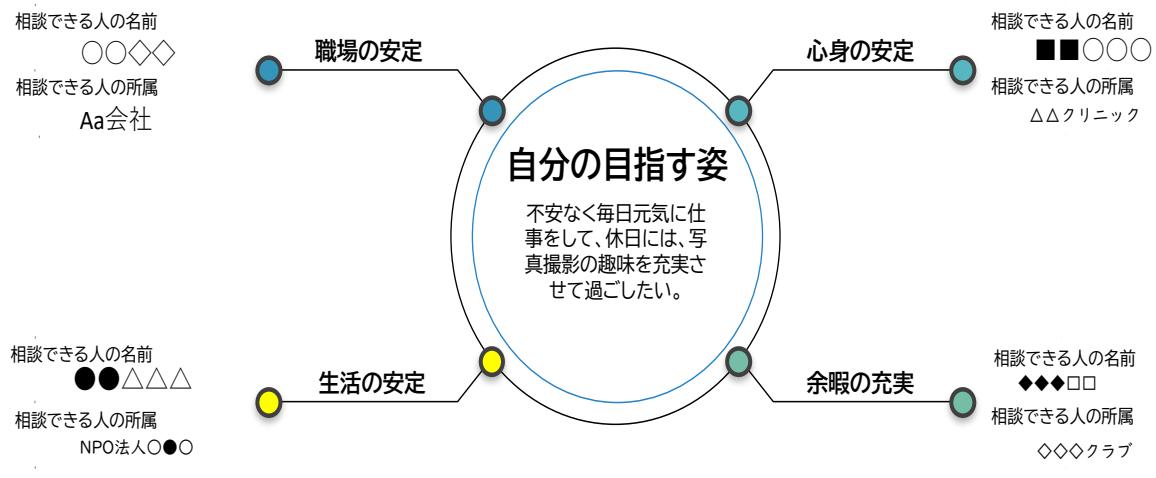


図 安定した就労と生活のためのリソースマップシート記入例

(1) サービスが終わったあとの「わたしの目標」を考えてみましょう

就労定着支援のサービスが終わったあとも、安心してはたらきつづけるために、これから「わたしの目標」や「大切にしたいこと」を考えてみましょう。

(2) どんなことを大切にしたいですか？

つぎのようなことについて、自分にとって「大事だな」と思うことをかんがえて、書いてみましょう。

- はたらく場所が安定していること(職場のこと)
- 気持ちや体が元気でいられること(こころとからだのこと)
- ふだんの生活が落ち着いていること(生活のこと)
- 休みの日を楽しくすごせること(余暇のこと)

(3) だれが助けてくれるかも書いてみましょう

あなたのまわりには、いろいろな支援しえんひとしてくれる人がいます。

たとえば：

- 就労定着支援事業所のスタッフ
- 会社で相談できる人(上司・先輩など)
- 相談支援専門員(そうだんしえんせんもんいん)
- ヘルパーさん、医療の人(びょういん・看護師さんなど)

「この人にはこんなとき相談できる！」というメモとしてリソースマップりそーすまっぷをつくっておくと、あとで見返すとき
にとても役立ちます。

(4) 困ったときのための「リソースマップ」をつくろう

サービスが終わったあとにも、こまつたり、なやんだりすることがあるかもしれません。

そんなときは、あなたが書いた「リソースマップ(支えてくれる人の地図)」を見て、相談してみましょう。

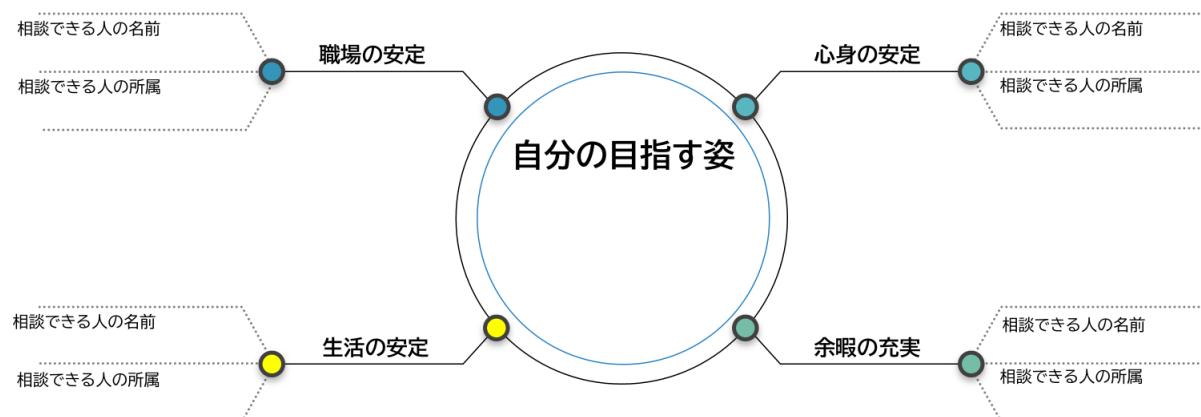


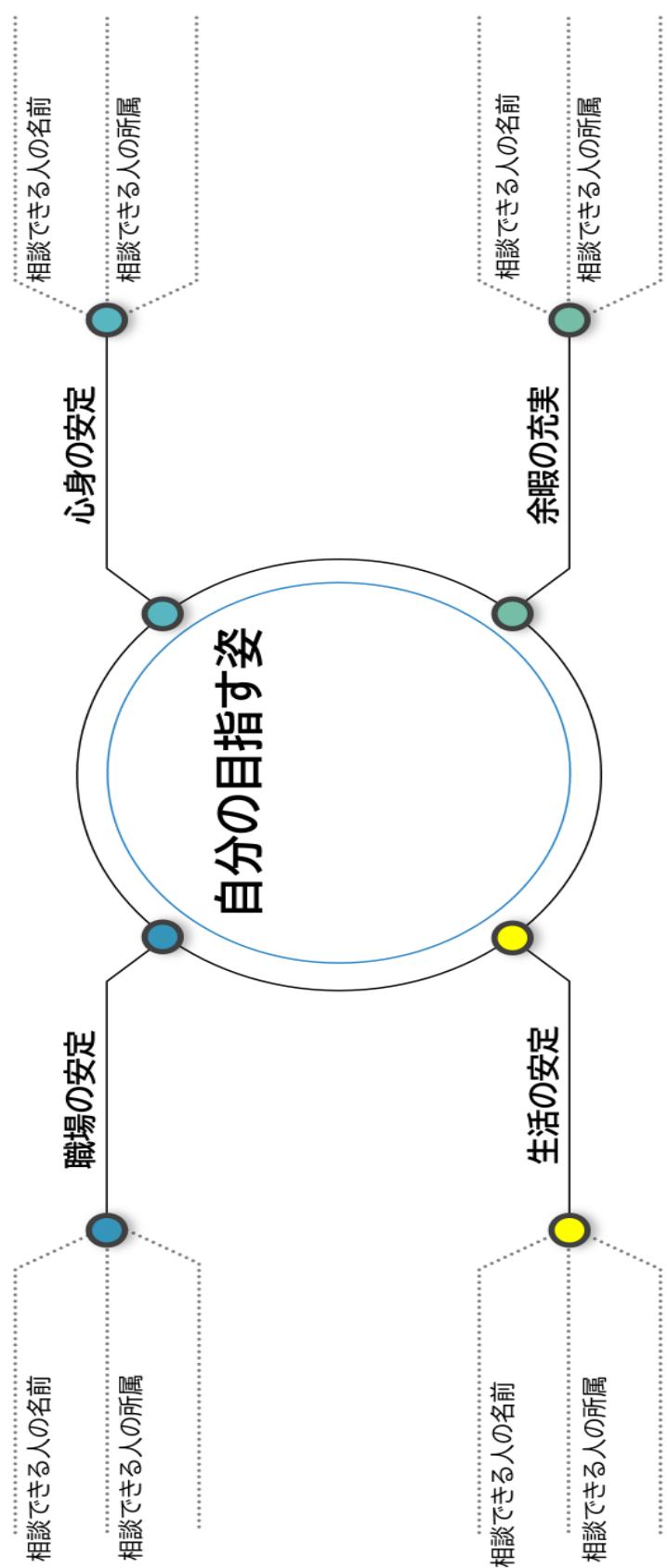
図 安定した就労と生活のためのリソースマップシート

就労定着支援事業所のサービス利用を終了した後に、あなたが目指す姿について、就労定着支援事業所の担当者の方や会社の相談できる方と対話をしてみましょう。

職場の安定、心身の安定、生活の安定、余暇の充実としてあなたにとって大切なことを記入し、それをサポートしてくれる支援機関や担当者の名前などを記入してみましょう。

サービス終了後にも、困ることや悩むことが出てきた場合には、このリソースマップを見返して、相談してみましょう。





安定した就労生活のためのリソースマップシート



執筆者一覧

- 研究代表者
- 研究分担者

山 口 明乙香(高松大学)
八重田 淳 (筑波大学)
島 村 聰 (沖縄大学)
前 原 和 明 (秋田大学)
若 林 功 (国際医療福祉大学)
野 崎 智 仁 (国際医療福祉大学)
繩 岡 好 晴 (明星大学)
藤 川 真 由 (東北大学病院)
清 野 紘 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所)
池 田 浩 之 (兵庫教育大学)

○就労定着支援のためのプラットフォーム

みんなの質の高い就労定着支援: <https://retentionforall.org/>



本マニュアルの公開及び質の高い就労定着支援のためのオンラインセミナーの視聴などが可能になっています。また安定した就労と生活を実現するためのチェックツールやその使い方などのガイドブックを公開しています。



令和6年度厚生労働省科学研究費((23GC1010)「質の高い就労定着支援のためのマニュアルに関する研究」の成果物です。

このマニュアルは、障害者に対する「質の高い就労定着支援を実現する」のために作成されています。「質の高い就労定着支援」が実現できている状態は、「“本人”、“企業”、“支援者”の三者がそれぞれ大きな不安を抱えることなく、本人が安定した就労および生活を継続できており、仮に問題が生じた場合でも、三者が協働してその解決に取り組めるという相互の信頼関係が構築されている状態」です。このマニュアルは、この質の高い就労定着支援を実現するための大切なポイントを整理し、就労定着支援に関わる支援者向け、障害者を雇用している企業担当者向け、計画相談支援に関わる支援者向け、就労定着支援を利用する本人向けの4つのパートから構成されています。

このマニュアルが、国内の多くの当事者の方の「働く」を実現し、自分らしい人生やキャリアを切り拓くことを支えるためのアイデアや工夫、支援者間の連携を充実させることに貢献できることを願っています。

研究代表者 山口明乙香

＜本マニュアルの構成＞

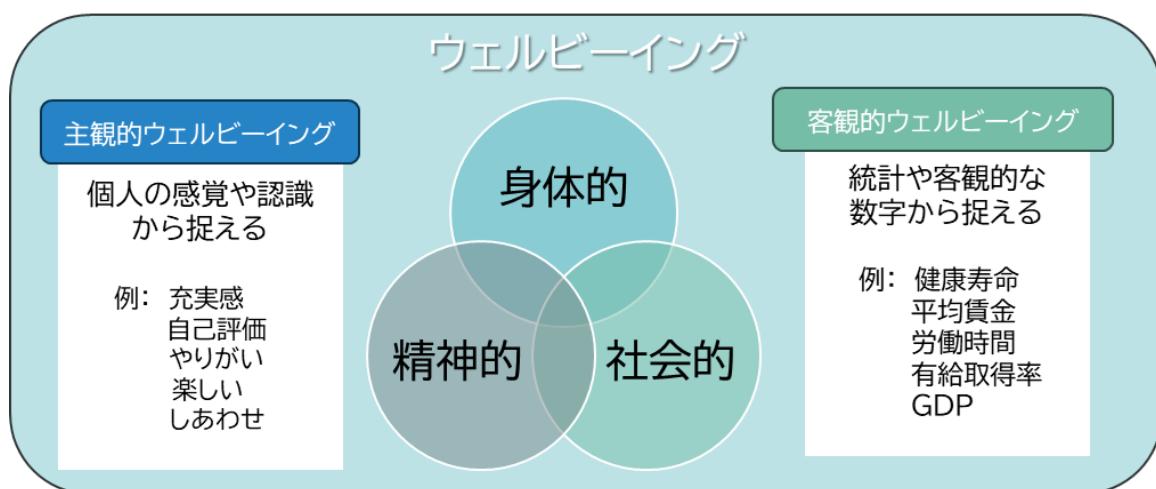
- はじめに
- 就労定着支援に関わる支援者のためのマニュアル
- 就労定着支援の計画相談に関わる支援者のためのマニュアル
- 障害者を雇用している企業担当者向け「質の高い就労定着支援を目指すためのガイドブック」
- 就労定着支援を利用する本人のためのガイドブック

○ はじめに

<障害のある人の「働く」を支えるうえで大切なこと>

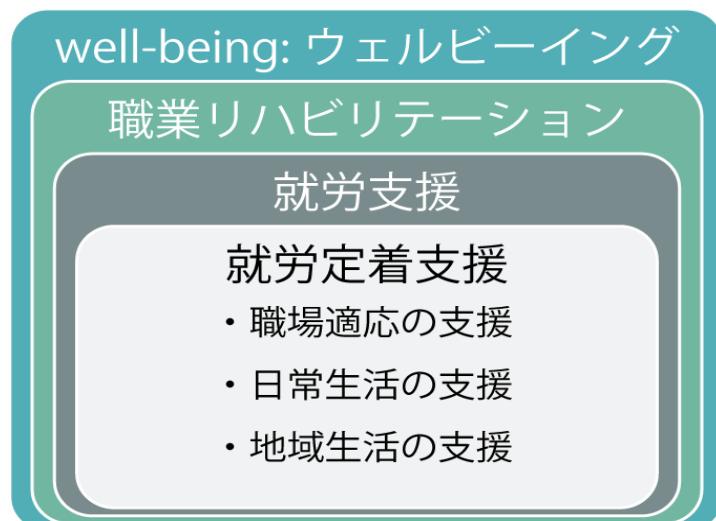
皆さんは Well-being(以下、ウェルビーイング)という言葉は、ご存じでしょうか。ウェルビーイングとは、「身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念」、「多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念」とされています(文部科学省,2023)。厚生労働省(2019)も、ウェルビーイングを「個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念」として説明しており、労働に関わる文脈におけるウェルビーイングは、「働き方を労働者が主体的に選択できる環境整備の推進・雇用条件の改善等を通じて、労働者が自ら望む生き方に沿った豊かで健康的な職業人生を送れるようになることにより、自らの権利や自己実現が保障され、働きがいを持ち、身体的、精神的、社会的に良好な状態になること」とされています。内閣府(2024)は、このウェルビーイングの観点を多面的に把握し、政策運営に活かす目的から「満足度・生活の質に関する調査」を実施しており、2019年から毎年その報告書が公開されています。

ウェルビーイングには、健康寿命や平均賃金や有給取得率などの統計や客観的な数字から捉えることができるウェルビーイングと充実感や自己評価ややりがいや幸福など個人の感覚や認識から捉える主観的なウェルビーイングによって構成されています。ウェルビーイングにおいてはこの客観的なウェルビーイングと主観的なウェルビーイングの両側面から捉え、一人ひとりが障害の有無や様々な背景の違いに関係なく、より自分らしく、自分らしさを発揮できるより良い状態を目指し、それをサポートできる社会の構築が求められているところです。



<Well-being と職業リハビリテーション, 就労支援, 就労定着支援の位置づけ>

ウェルビーイングと職業リハビリテーション、就労支援、就労定着支援の位置づけはどのようになっているのでしょうか。日本の職業リハビリテーションは、障害をもっているが故に職業に就くことが困難になってしまったり、維持していくことが難しくなっていたりする人にも、職業を通じた社会参加と自己実現、経済的自立の機会を作り出していく取り組みです(日本職業リハビリテーション学会, 2024)。国内法では、「障害者の雇用の促進等に関する法律(昭和 35 年法律第 123 号)」第2条第7号において、職業リハビリテーションを、「障害者に対して職業指導、職業訓練、職業紹介その他この法律に定める措置を講じ、その職業生活における自立を図ること」と定義されています。また、国際労働機関(ILO)の「第 159 号条約(障害者の職業リハビリテーション及び雇用に関する条約)」では、職業リハビリテーションの目的を、「障害者が適当な職業に就き、これを継続し及びその職業において向上することを可能にし、それにより障害者の社会における統合又は再統合の促進を図ること」とされています。国内では、この職業リハビリテーションの取り組みの一連の就職に向けた訓練とその公的サービスを含め就労支援として整理されています。その中で、障害福祉サービスにおける就労支援は、その対象者の希望や現状、アセスメント結果等を踏まえ、必要な取り組みや支援を検討した上で、例えば、最大 2 年の間で一般就労ができるように就労移行支援を行う、または、生産活動の機会を提供しつつ、一般就労に必要な知識・能力の向上を図る就労継続支援 A 型・B 型を行うなどにより実施しています。特にこうした期間を経て就職した後のサポートとして就労定着支援サービスが位置づけられます。この就労定着支援は、のちに詳述しますが、先行研究(朝日・島村, 2017)によると職場適応の支援、日常生活の支援、地域生活の支援が含まれています。



○ 質の高い就労定着支援とは

就労定着支援は、障害のある方の日々の「働く」を支え、安定した就労と生活を実現し、日々をウェルビーイングな状態に近づけ、職業人としての自立を支えるために働き始めから一定の期間を支援するものです。

働き始めると、職場だけでなく、日常生活や地域生活においても日々小さなことから大きなことまで様々なトラブルが生じます。また、トラブルでなくとも、うまくいかないと感じる場面に遭遇することがあります。こうしたトラブルやうまくいかないということを全く生じないようにすることはできませんが、そのトラブルやうまくいかないという事柄をその都度解決し、より良い状態へ近づけていく取り組みの繰り返しが必要になります。就労定着支援における、質の高い支援とは、“本人”、“企業”、“支援者”それぞれが不安なく就労と生活を継続できている又は問題が生じても共に協働して解決できると相互に感じている状況を実現できている支援」として定義しています。

質の高い就労定着支援では、課題やうまくいかないという状況を発生させないのではなく、これらの課題を最小化し、こうした状況が発生しても、本人、企業、支援者が共に解決に向けて取り組める相互の信頼関係があり、課題の解決に向けて前向きに具体的に行動ができることが大切です。

